

令和4年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	児童・生徒が主体的に学び行動し、対話的に学び高めあう力を育み、地域の資源等を活用した活動を取り入れ、社会に開かれた教育課程を編成する。	①児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善に取り組む。 ②地域資源を活用した授業の実践や近隣の学校等との交流及び共同学習を継続・発展させる。	①研究で整理した「授業改善のポイント」に基づき、教員一人1回研究授業を行い（略案可）、個々の授業を振り返る。 ②コロナ禍において工夫し、地域の資源を活用した授業に取り組んだり、新しい交流の仕方を検討し、実践したりする。	①学部で計画を立て、教員一人1回研究授業を行い、授業改善することができたか。また、学部等でそれらを共有することができたか。 ②地域の資源を活用した授業を実践することができたか。また、交流及び共同学習に取り組むことができたか。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	児童・生徒一人ひとりのニーズに応じた専門性の高い指導を行うと共に校内指導体制をさらに整備する。	①「学部コーディネーター」を活用しながら、学部・部門内での相談・支援体制を充実させる。 ②各学部で児童・生徒の実態把握をするための研修を行い、授業や指導に生かす。	①「学部コーディネーター」が核となり、専門性の向上を目指して学部のケース会や研修を行う。 ②各学部で専門職等と協力して研修を実施し、個別教育計画を作成したり、授業に活用したりする。	①学部のニーズに応じた研修会やケース会を実施することで専門性を向上することができたか。（教員アンケート「専門性が向上した」85%） ②児童生徒の実態を把握するための研修が実施できたか。また、研修内容や「アセスメント」等に基づき個別教育計画を作成、授業に活用することができたか。
3	進路指導・支援	個々のライフキャリア・ワークキャリアを見据えた進路指導・支援を行う	①全ての学部の教員が進路指導・支援に関する知識や実践力を向上させる。 ②児童生徒がキャリアパスポートを活用できるように全学部で取り組む。	①進路に関する研修を実施し、研修内容を基にキャリア教育を意識した指導に取り組む。 ②実際に児童生徒が活用する中で、各学部で課題を整理していく。	①進路に関する研修により知識を向上できたか。また、キャリア教育を意識した指導や進路学習ができたか。 ②キャリアパスポート活用に向けての取り組みが進んだか。（教員アンケート「取り組みが進んだ」80%）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	地域のセンター的機能の充実を図るとともに、共生社会の実現のために地域と連携した活動の機会を設ける	①地域に中原養護学校の持つ資源を発信していく。 ②「地域に開かれた学校」を意識し、地域、保護者へ適時情報発信を行う。	①教材データベースや校内人材バンクを作成し、本校の持つ資源について情報を整理し、HP等を活用し情報を発信する。 ②学校への理解を促進するために、HPの掲載や学校だより等を効果的に活用し、情報発信を行う。	①本校の持つ資源を校内で共有し、地域へ発信していくことができたか。 ②様々な情報が効果的に発信されたか。 (保護者アンケートで肯定的意見80%)
5	学校管理 学校運営	保護者や地域から信頼・信用される安心安全な学校づくりを行う。	①児童・生徒が安心安全な学校生活を送ることができるように教育環境の整備に取り組む。 ②風通しのよい職場づくりを促進し、事故不祥事の防止に努める。	①感染予防対策、耐震化工事における環境の変化に伴う物品の整理、教室の配置や動線の工夫等を行う。 ②連絡・報告・相談等の意識を高め、「ヒヤリハット」等の報告等を全職員で共有し、事故・不祥事防止に向けた啓発を行う。	①感染予防対策を講じた教育活動を行うことができたか。また物品の整理等、安全な環境を保持することができたか。 ②事故・不祥事等を防ぐことができたか。